

特集II

機能性高めた新原料を開発

R・αリポ酸包接体

シクロケム

シクロケム(東京都中央区、☎03・5614・7147)は美肌サプリとしてC・Q10のシクロデキストリン(以後CD)包接体とαリポ酸(ALA)のCD包接体の組み合わせを提案している。

最近の動向として、同社はαリポ酸の機能性を高めた新原料「R・αリポ酸(RALA)包接体」を開発し、今後原料・OEM供給を行っていく。

αリポ酸を含む一部の物質は鏡像異性体と呼ばれる対になる物質が存在する。αリポ酸にはR体とS体があり、体内で合成されるのはR体。加齢とともに合成能力も減っていく。通常市場に出

回っているのはR体とS体を両方含んだ、ラセミ体だ。同社はこの中でより効果が高いR体の包接安定化に成功し製品化した。

一方、これまで行った試験により、C・Q10CD包接体とαリポ酸CD包接体を同時に配合したサプリを、4〜8週間摂取することで平均年齢47歳の女性の肌弾力性が20代よりも良好な状態に改善することを確認している。

AC-11

ニュートリション・アクト

ニュートリション・アクト(東京都港区、☎03・5475・7313)が扱う「AC-11」は、DNAの修復を促進し、免疫賦活やアンチエイジングを始めとする様々な機能性を発揮。その一つにⅢ型コラーゲンの生成を促進させ、内外美容をサポートする働きが確認されている。高級美容商品を扱うメーカーを中心

に引き合いが依然として増加しており、さらなる展開が期待される高級美容素材だ。

同社が保有するエビデンスでは、ヒト皮膚組織片をAC-11存在下/非存在下で10日間、生存保持させたところ、AC-11は真皮中のⅢ型コラーゲンを約470%にまで増加させる作用を確認。年齢とともに減少するⅢ

型コラーゲンの生成を促進させる作用を確認。年齢とともに減少するⅢ

型コラーゲンの生成を促進させる作用を確認。年齢とともに減少するⅢ

型コラーゲンの生成を促進させる作用を確認。年齢とともに減少するⅢ

型コラーゲンの生成を促進させる作用を確認。年齢とともに減少するⅢ

型コラーゲンの生成を促進させる作用を確認。年齢とともに減少するⅢ

女性ユーザーがスッポン

スッポン

岩谷産業(東京都港区、☎03・5405・5884)は、純国産のスッポン原料「イワタニ・スッポン(原末(SST))」を30年以上に渡り供給。同品を用いたカフェセルやドリンク飲料、スープ、ゼリーなどのOEMも請け負っている。

同品は熊本県山鹿市の井寺スッポン養殖場で卵の状態からスッポンを養殖。粉末化(1196度の液体窒素で凍結粉砕)に至るまで一貫した製造を行っている。

効果効能がイメージできるスッポンは最近、大手を含め引き合いが高まっている。商品形態は

型コラーゲンを選択的に増やすことで肌のしわやたるみといった肌質の改善が期待されている。

他にも、紫外線によるDNA損傷の修復効果をヒト皮膚組織モデルによる実験で確認。紫外線による皮膚トラブルをDNAレベルで改善するといった効果が示唆されている。

ヒアロコラーゲン好調な引き合い

ヒアロコラーゲン、ヌクレオプロテイン

エル・エスコローション

エル・エスコローション(東京都中央区、☎03・3662・7941)は天然のヒアルロン酸とコラーゲンで構成される原料「ヒアロコラーゲン」と、「ヌクレオプロテイン(核酸)」の原料・OEM供給を行う。どちらも国産原料。

ヒアロコラーゲンは、国産の鶏のとさかから同社独自の特許製法で抽出したヒアルロン酸

(5%以上)とコラーゲン(80%以上)の天然複合体成分で、同社オリジナルの原料。人工的にコラーゲンとヒアルロン酸を合成したものと比較し、皮膚保湿度が高いという特徴を持つ。

昨今、コラーゲンとヒアルロン酸の知名度は美容関連素材の中でも特に高く、同社への問い合わせ件数も増加。オープンマーケット流通する商品

に渡り摂取してもらう肌の変化を測定した。その結果、50代の女性の肌弾力性が4週間後には85.9%、8週間後には88.2%と20代平均を上回る効果を示した。

このほかにも同社は美肌商材としてγCD包接加工で機能性を向上させた「レチノール(ヒタミンA)」、「アスタキサンチン」なども取り扱っている。

型コラーゲンを選択的に増やすことで肌のしわやたるみといった肌質の改善が期待されている。

他にも、紫外線によるDNA損傷の修復効果をヒト皮膚組織モデルによる実験で確認。紫外線による皮膚トラブルをDNAレベルで改善するといった効果が示唆されている。

型コラーゲンを選択的に増やすことで肌のしわやたるみといった肌質の改善が期待されている。

他にも、紫外線によるDNA損傷の修復効果をヒト皮膚組織モデルによる実験で確認。紫外線による皮膚トラブルをDNAレベルで改善するといった効果が示唆されている。

型コラーゲンを選択的に増やすことで肌のしわやたるみといった肌質の改善が期待されている。

他にも、紫外線によるDNA損傷の修復効果をヒト皮膚組織モデルによる実験で確認。紫外線による皮膚トラブルをDNAレベルで改善するといった効果が示唆されている。

型コラーゲンを選択的に増やすことで肌のしわやたるみといった肌質の改善が期待されている。

他にも、紫外線によるDNA損傷の修復効果をヒト皮膚組織モデルによる実験で確認。紫外線による皮膚トラブルをDNAレベルで改善するといった効果が示唆されている。

型コラーゲンを選択的に増やすことで肌のしわやたるみといった肌質の改善が期待されている。

型コラーゲンを選択的に増やすことで肌のしわやたるみといった肌質の改善が期待されている。

他にも、紫外線によるDNA損傷の修復効果をヒト皮膚組織モデルによる実験で確認。紫外線による皮膚トラブルをDNAレベルで改善するといった効果が示唆されている。

型コラーゲンを選択的に増やすことで肌のしわやたるみといった肌質の改善が期待されている。

他にも、紫外線によるDNA損傷の修復効果をヒト皮膚組織モデルによる実験で確認。紫外線による皮膚トラブルをDNAレベルで改善するといった効果が示唆されている。

型コラーゲンを選択的に増やすことで肌のしわやたるみといった肌質の改善が期待されている。